

平成 10 年災害から 20 年

「災害の教訓を語り継ぎ、次世代につなぐ」座談会

阿武隈川上流地区（鏡石町・泉崎村・中島村・矢吹町・玉川村）

日 時：平成 31 年 1 月 25 日(金) 14:00～

場 所：鏡石町図書館 2 階 視聴覚ホール
福島県岩瀬郡鏡石町旭町 440 番 6 号

次 第

1. 挨拶

2. 座談会

（1）平成 10 年災害の振り返り

（2）平成 10 年災害後の取組み

（3）これからの阿武隈川を考える

（4）総括

3. 閉 会

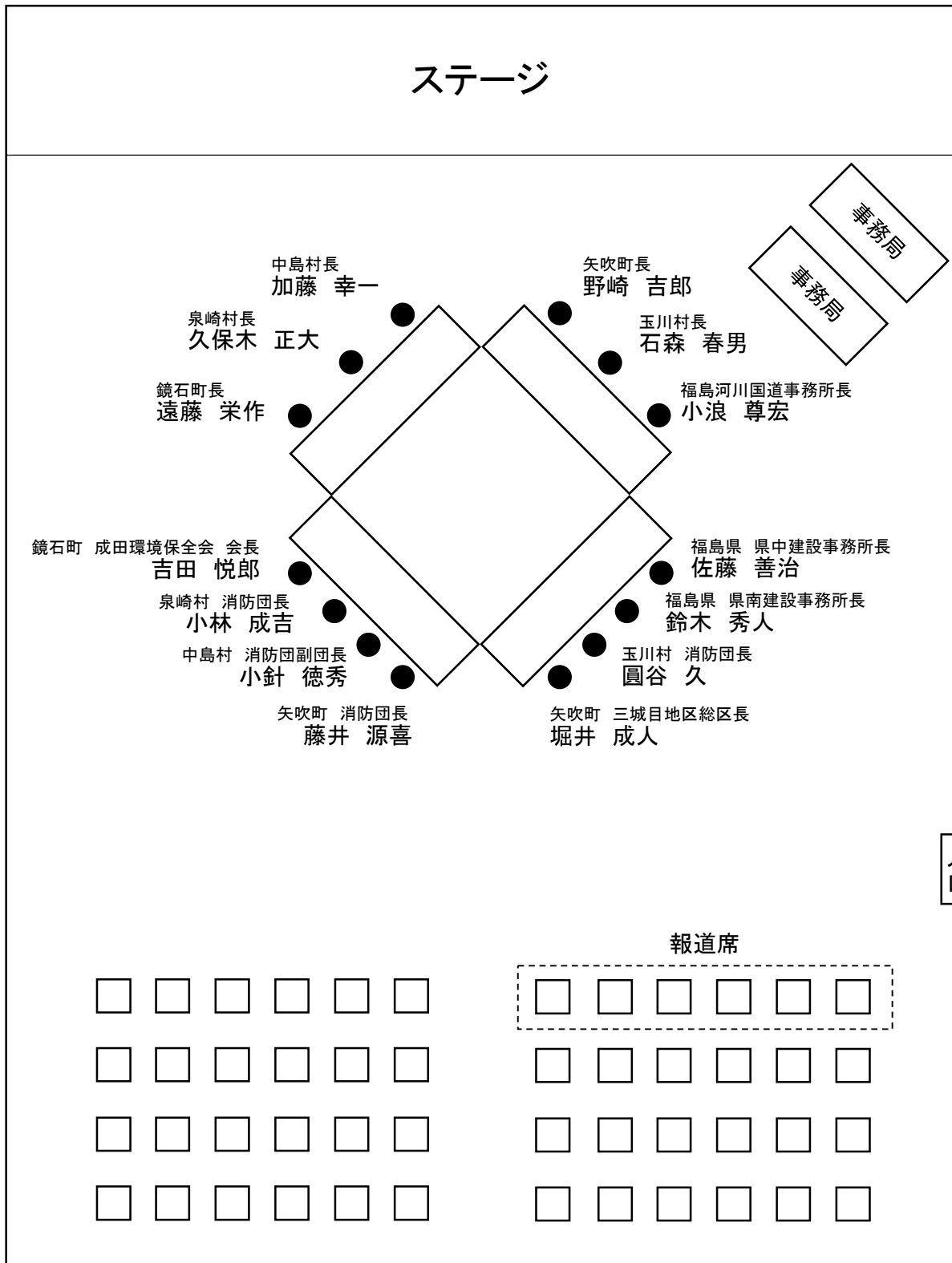
平成10年災害から20年
「災害の教訓を語り継ぎ、次世代につなぐ」座談会
阿武隈川上流地区(鏡石町・泉崎村・中島村・矢吹町・玉川村)
出席者

氏名	役職
えんどう えいさく 遠藤 栄作	鏡石町長
くぼき まさお 久保木 正大	泉崎村長
かとう こういち 加藤 幸一	中島村長
のざき きちろう 野崎 吉郎	矢吹町長
いしもり はるお 石森 春男	玉川村長
さとう よしじ 佐藤 善治	福島県 県中建設事務所長
すずき ひでと 鈴木 秀人	福島県 県南建設事務所長
よしだ えつろう 吉田 悦郎	鏡石町 成田環境保全会 会長
こばやし しげよし 小林 成吉	泉崎村 消防団長
こばり とくひで 小針 徳秀	中島村 消防団副団長
ふじい げんき 藤井 源喜	矢吹町 消防団長
ほりい しげと 堀井 成人	矢吹町 三城目地区 総区長
つむらや ひさし 圓谷 久	玉川村 消防団長
こなみ たかひろ 小浪 尊宏	福島河川国道事務所長

※敬称略

平成10年災害から20年 「災害の教訓を語り継ぎ、次世代につなぐ」座談会 阿武隈川上流地区(鏡石町・泉崎村・中島村・矢吹町・玉川村) 配席図

鏡石町図書館 2階 視聴覚ホール
平成31年1月25日(金)14:00～



**平成10年災害から20年
「災害の教訓を語り継ぎ、次世代につなぐ」座談会
阿武隈川上流地区（鏡石町・泉崎村・中島村・矢吹町・玉川村）
～阿武隈川改修100周年事業イベント第3弾～**

平成31年1月25日

**共催…阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会
（一社）東北地域づくり協会**

後援…阿武隈川サミット実行委員会

平成10年8月末洪水の状況

- 阿武隈川流域全体で甚大な被害が発生。
- 各地で道路や鉄道がストップするなどライフラインの混乱も生じた。
- **福島県全域で死傷者20名、浸水戸数3,950戸、全壊 50戸、半壊 84戸。**
- 被害総額は、農林水産・土木関係それぞれ、**約291億円・約355億円。**

出典:平成10年8月末豪雨による災害の記録(福島県)



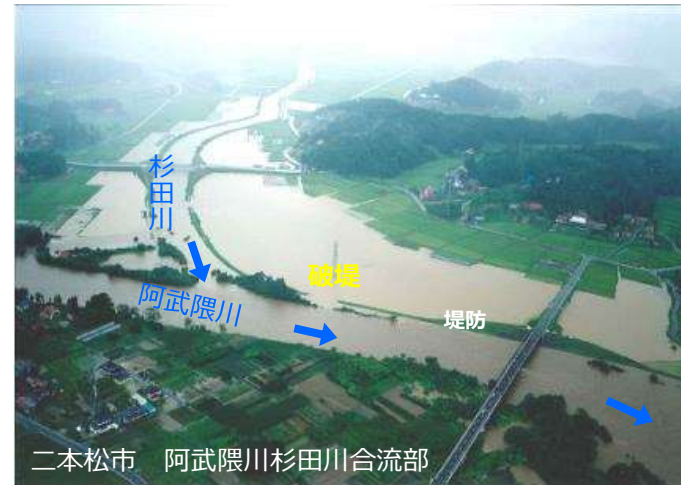
白河市 阿武隈川・堀川合流部

新聞記事 平成10年8月31日
福島民報新聞(夕刊1面)掲載

続く豪雨、被害全県に



玉川村・鏡石町・矢吹町 阿武隈川上流 県区間



二本松市 阿武隈川杉田川合流部



郡山市 阿武隈川・笹原川合流部



福島市 阿武隈川・松川合流部

平成10年8月末洪水の状況

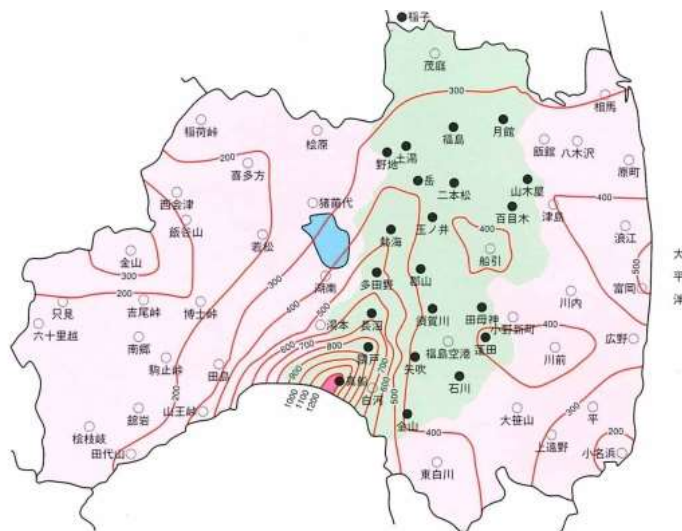
平成10年8月末豪雨の洪水概要

平成10年8月および9月に福島県を襲った豪雨・台風は阿武隈川のはん濫をもたらし、流域に大きな被害をもたらしました。

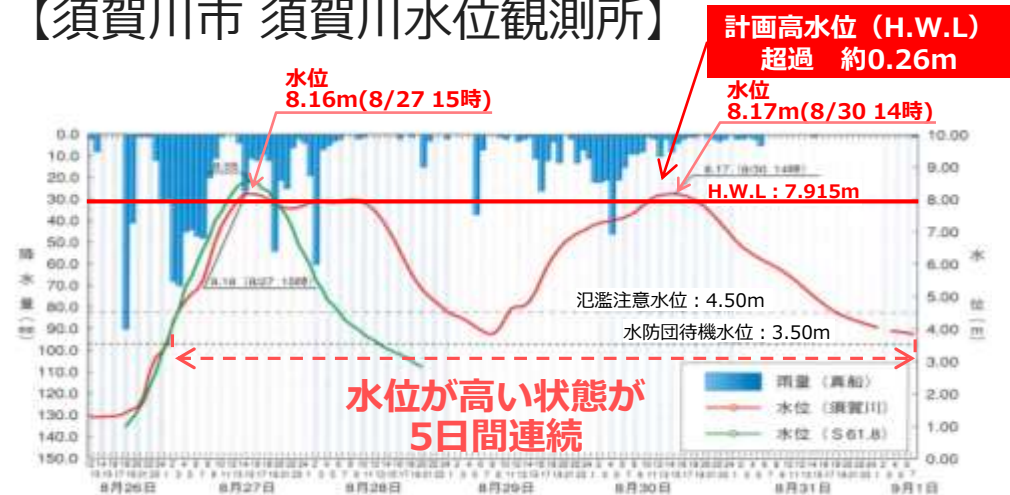
8月26日夜から東北地方に停滞していた前線が活発化し、福島県南部と栃木県北部に局所的な豪雨が長期間にわたり降り続き、福島県西郷村の真船観測所では、降り始めからの**総雨量は1,267mm**に達し、**1時間当たりの雨量も90mm**(26日17~18時の同観測所)を記録しました。この豪雨は**僅か6日間で年間総雨量の75%**、8月の福島県白河地方の平均月雨量の6.3倍にも相当する観測史上類のないものとなりました。

雨量及び水位状況

等雨量線図



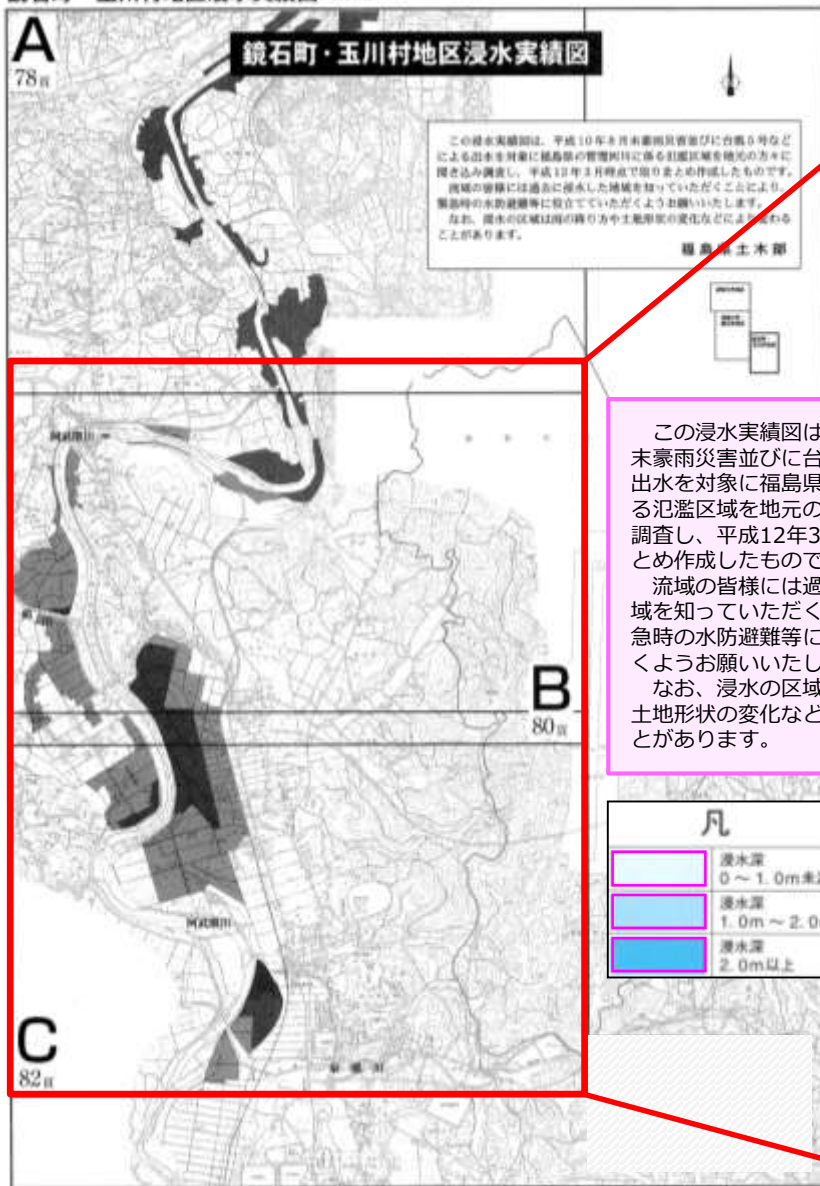
【須賀川市 須賀川水位観測所】



計画高水位：計画した流量が河道内を流下するときの水位。堤防や護岸など設計の基本となる水位。(H.W.L) ※この水位を上回る超過洪水では、堤防が危険な状態になることを意味します。

阿武隈川 浸水実績図（鏡石町・玉川村地区）

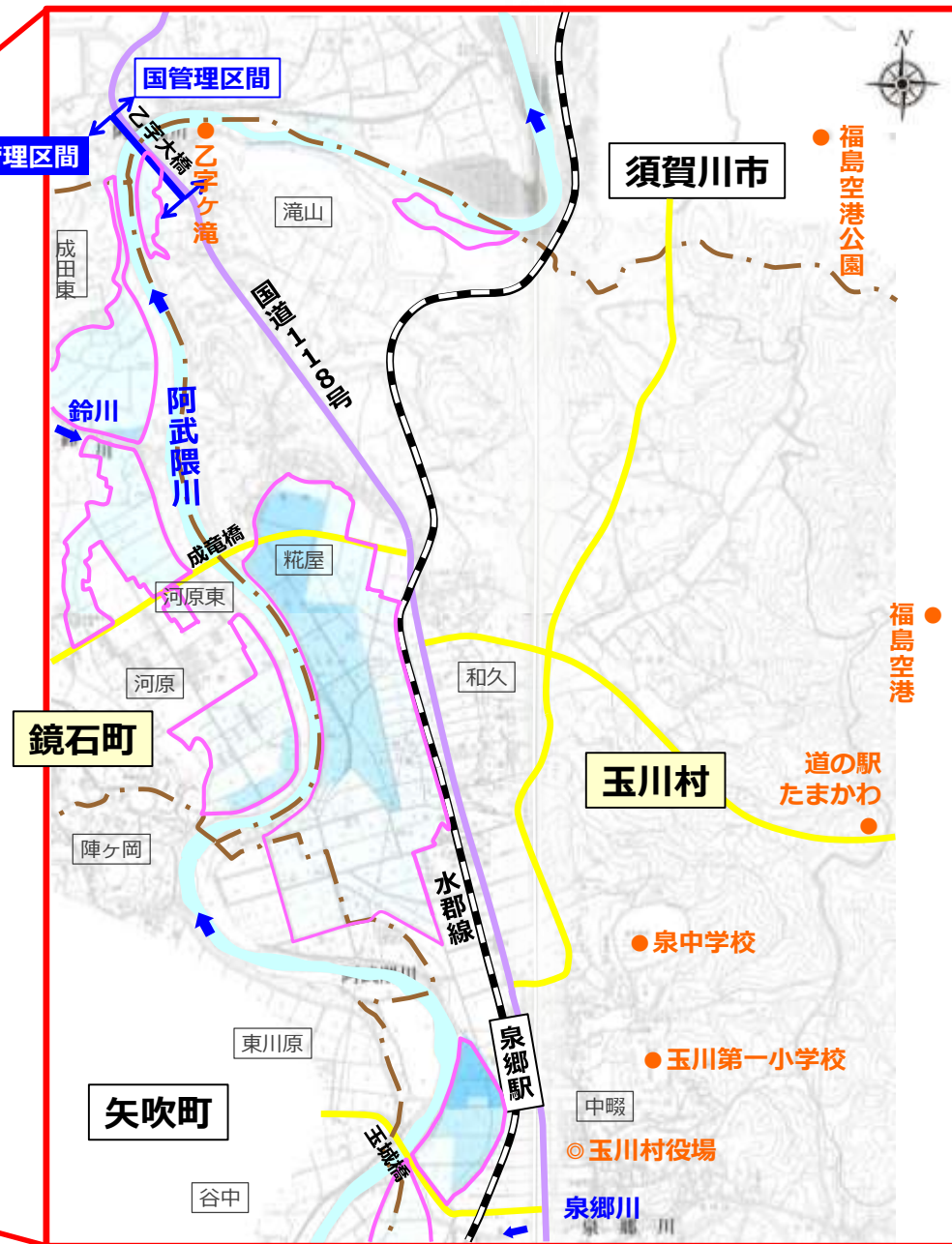
鏡石町・玉川村地区浸水実績図（全図）



この浸水実績図は、平成10年8月末豪雨災害並びに台風5号などによる出水を対象に福島県の管理河川に係る氾濫区域を地元の方々に聞き込み調査し、平成12年3月時点で取りまとめ作成したものです。

流域の皆様には過去に浸水した地域を知っていただくことにより、緊急時の水防避難等に役立てていただくようお願いいたします。

なお、浸水の区域は雨の降り方や土地形状の変化などにより変わることがあります。



阿武隈川 浸水実績図 (矢吹町)

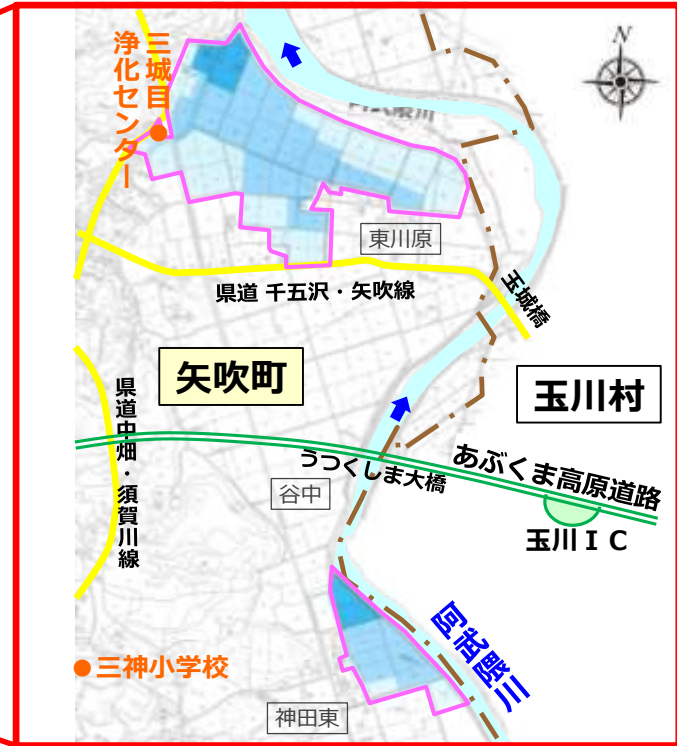
矢吹町地区浸水実績図 (1) (全図)



この浸水実績図は、平成10年8月末豪雨災害並びに台風5号などによる出水を対象に福島県の管理河川に係る氾濫区域を地元の方々に聞き込み調査し、平成12年3月時点で取りまとめ作成したものです。

流域の皆様には過去に浸水した地域を知っていただくことにより、緊急時の水防避難等に役立てていただくようお願いいたします。

なお、浸水の区域は雨の降り方や土地形状の変化などにより変わることがあります。

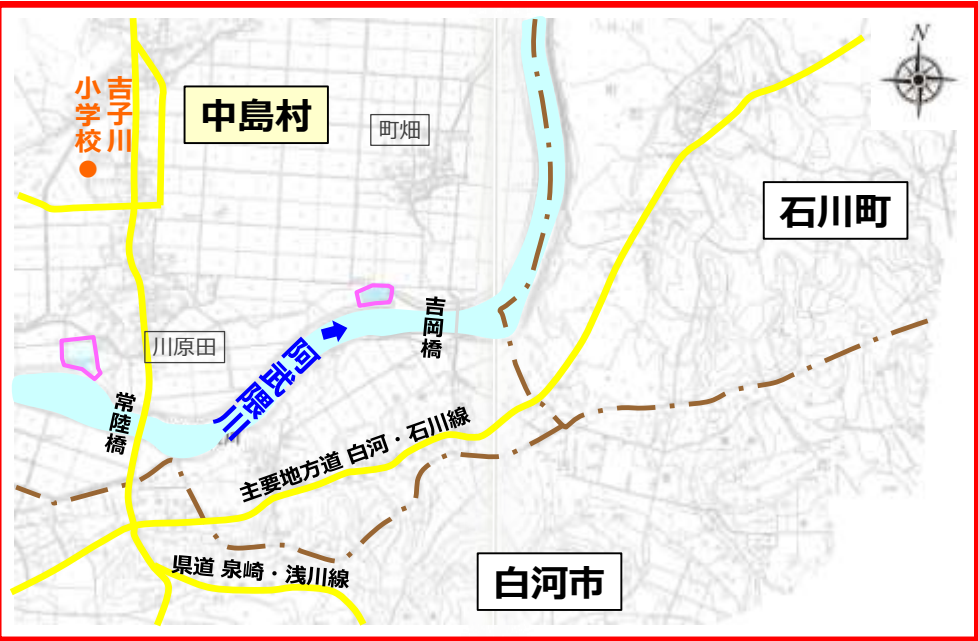


阿武隈川 浸水実績図 (中島村)

中島村地区浸水実績図 (全圖)



この浸水実績図は、平成10年8月末豪雨災害並びに台風5号などによる出水を対象に福島県の管理河川に係る氾濫区域を地元の方々へ聞き込み調査し、平成12年3月時点で取りまとめ作成したものです。
流域の皆様には過去に浸水した地域を知っていただくことにより、緊急時の水防避難等に役立てていただくようお願いいたします。
なお、浸水の区域は雨の降り方や土地形状の変化などにより変わることがあります。



くまどがわ 隈戸川 浸水実績図 (矢吹町)

矢吹町地区浸水実績図 (2) (全図)

矢吹町地区浸水実績図 (2)

この浸水実績図は、平成10年8月末豪雨災害並びに台風5号などによる出水を対象に福島の管理河川に係る氾濫区域を地元の方々に聞き込み調査し、平成12年3月時点で取りまとめ作成したものです。流域の皆様には過去に浸水した地域を知っていただくことにより、緊急時の水防避難等に役立てていただくようお願いいたします。なお、浸水の区域は雨の降り方や土地形状の変化などにより変わることがあります。

福島県土木部

A
132m

B
134m

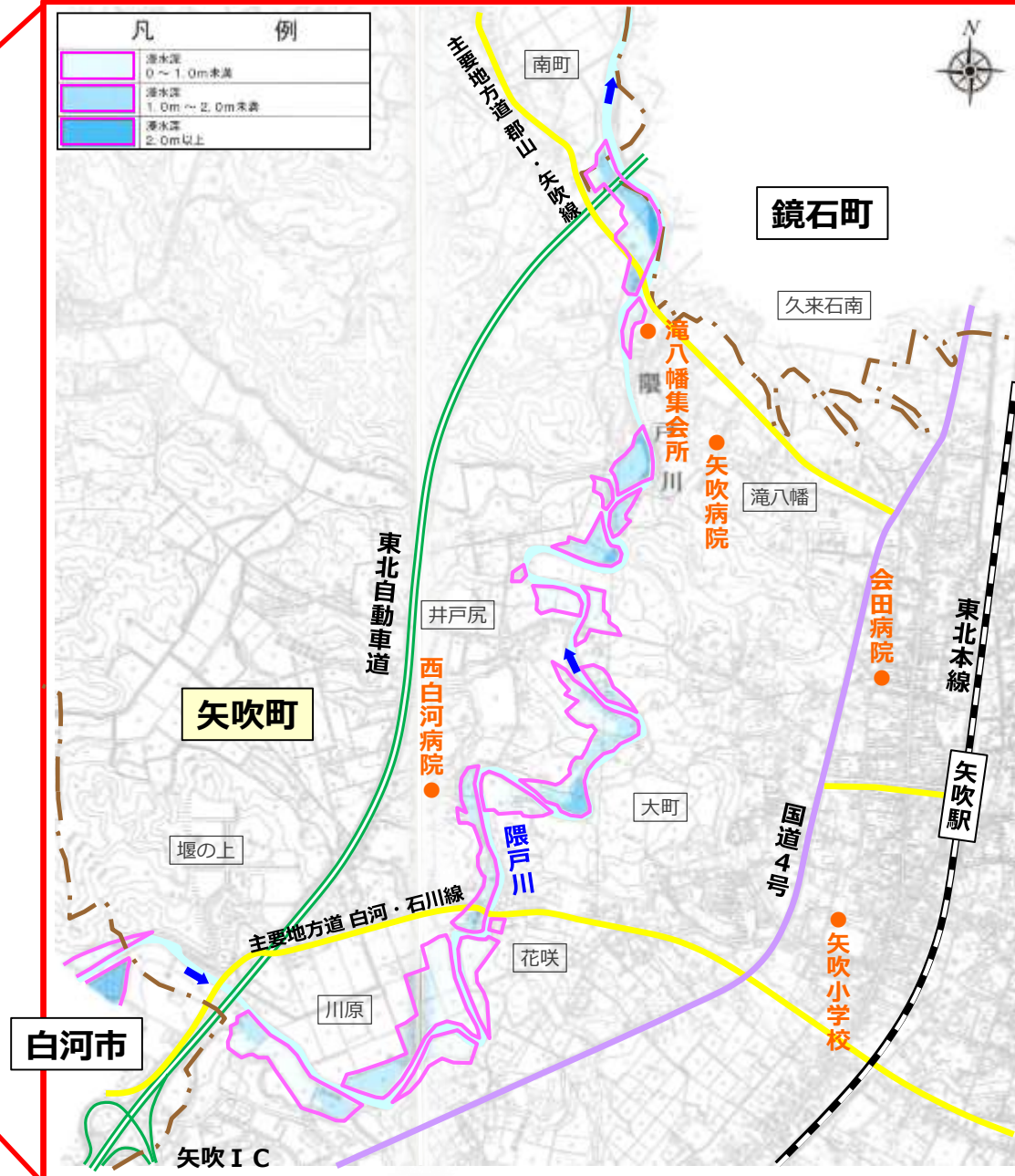
この浸水実績図は、平成10年8月末豪雨災害並びに台風5号などによる出水を対象に福島の管理河川に係る氾濫区域を地元の方々に聞き込み調査し、平成12年3月時点で取りまとめ作成したものです。

流域の皆様には過去に浸水した地域を知っていただくことにより、緊急時の水防避難等に役立てていただくようお願いいたします。

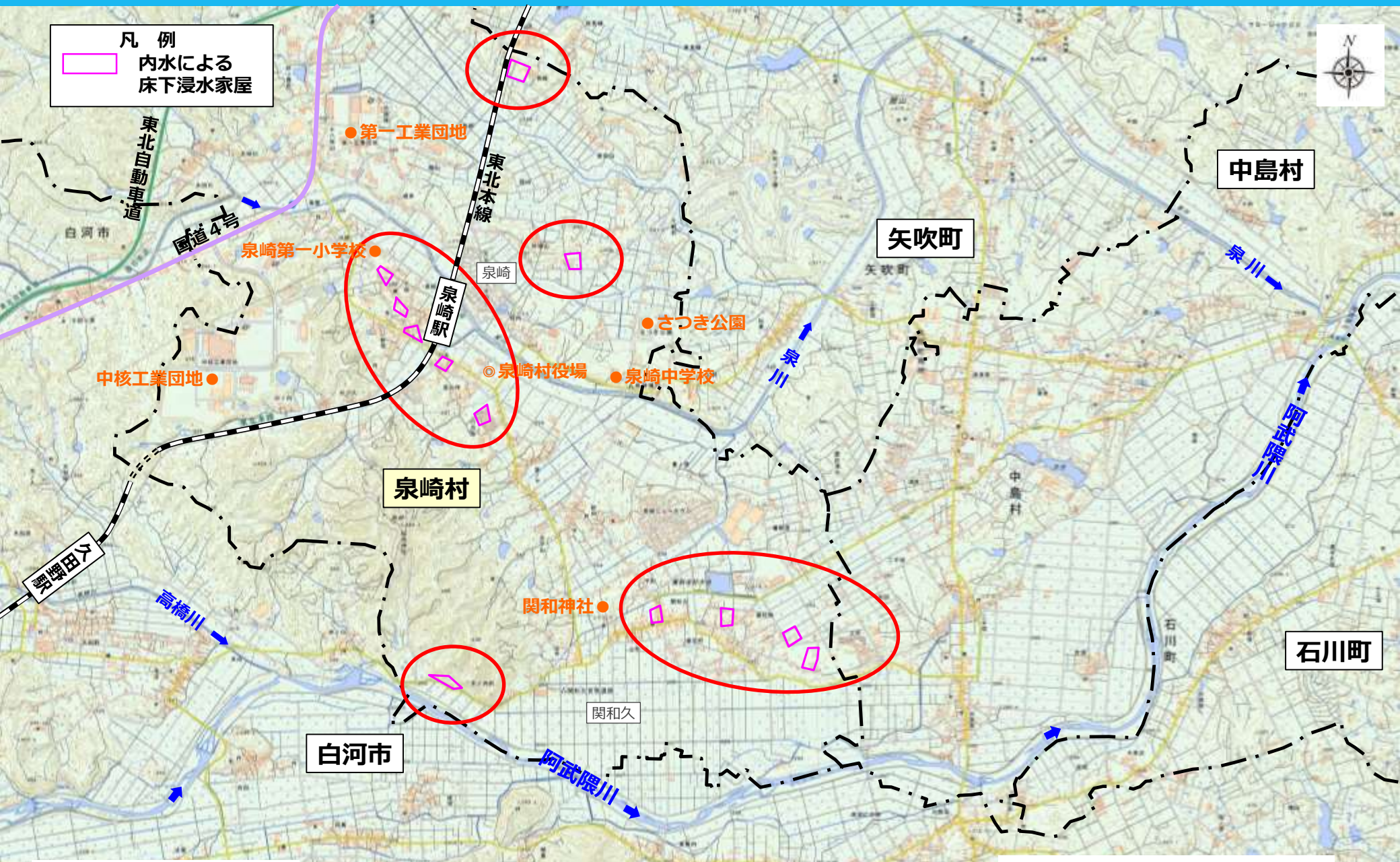
なお、浸水の区域は雨の降り方や土地形状の変化などにより変わることがあります。

出典：平成十年八月 浸水実績図 (福島県土木部)

凡	例
	浸水深 0 ~ 1.0m未満
	浸水深 1.0m ~ 2.0m未満
	浸水深 2.0m以上



床下浸水家屋位置図 (泉崎村)



※ 泉崎村への聞き取りによる

国土地理院の電子地形図25000を掲載

福島県内の被害状況

県内各地域の河川で被害が発生



阿武隈川と広瀬川の合流付近(伊達市(旧梁川町))



伝穂川のはん氾状況(伊達市(旧梁川町))



県災害対策本部事務局(県庁)



土砂崩れにより住宅全壊(白河市(旧大徳村))



自衛隊による救出(白河市(旧大徳村))
※旧大徳村提供



自衛隊車両で避難する住民(郡山市)
※陸上自衛隊第6特科連隊提供



住宅の床上浸水(郡山市)



浪戸川のはん氾状況(白河市(旧大徳村))



浪戸川の増水により、県道失効・天栄線の路面が崩壊(白河市(旧大徳村))



浪戸川の増水により、水田に土砂・流木が流入(白河市(旧大徳村))



ビニールハウスの冠水(郡山市)



黒川のはん氾状況(西郷村)



広城農道が約100mにわたり崩壊(西郷村)



橋台が河川の浸食により下がった県道白河・羽鳥線の羽太橋(西郷村)



土石や大木が流入した水田(西郷村)



裏山が崩れた総合社会福祉施設「太陽の国・からまつ荘・さつき荘」(西郷村)



からまつ荘 さつき荘



消防防災ヘリコプターに救助を求める住民(西郷村)



日赤救護班の活動(西郷村)
※日赤提供

凡 例	
	河川被災箇所
	道路通行止箇所
	がけ崩れ・土石流
	雨量分布線(ミリ)



堀川のはん氾し周辺の住宅、公設市場が浸水(白河市)
※福島河川国道事務所提供



公設市場



県庁屋上からの阿武隈川(福島市)



浸水によりミトマツが枯死(二本松市)



阿武隈川への排水作業(本宮市)



百日川のはん氾状況(本宮市)



釈迦堂川のはん氾状況(須賀川市)



阿武隈川と釈迦堂川の合流付近(須賀川市)
※福島河川国道事務所提供



浸水したナシ園(須賀川市)



避難した被災者(白河市第三小体育館)
※福島河川国道事務所提供



ボランティアの活動(白河市)
※白河市提供



佐藤知事が小浜総理大臣に被害状況を説明(白河合同庁舎)



谷津田川のはん氾による浸水状況(白河市)



国道294号の冠水(白河市)



警察、自衛隊、消防による人命救助(白河市)



堀川のはん氾による住宅浸水(白河市)
※白河地方広域市町村圏消防本部提供



堀川の土のう積み作業(白河市)
※白河市提供

平成の大改修

阿武隈川 平成の大改修とは？

福島市、郡山市、須賀川市等福島県中心部を流れる阿武隈川は、昭和61年8月5日洪水からわずか12年後の平成10年8月末洪水により、甚大な浸水被害に見舞われました。

これは、完成堤防が堤防必要延長の約1/3であり、堤防の無い地区が全体の約30%も残っているなど、河川整備率の著しい低さが原因でした。

河川整備率を向上させ、水害に対し安全な地域をつくるためには、

- 抜本的な治水対策
- 集中的な投資
- ハードとソフト対策の連携

が必要です。

このため、阿武隈川について、

- ◎総合的な河川改修
- ◎改良型災害復旧事業

を短期間に集中的に行う

『阿武隈川平成の大改修』

を実施しました。



昭和61年8月洪水、阿武隈川合流点付近河床状況



平成10年8月末洪水、阿武隈川合流点付近河床状況

全体事業費

河川改修事業
災害復旧事業

約800億円

完了年度

平成12年度末概成（平成13年3月）

（一部施設を除く）

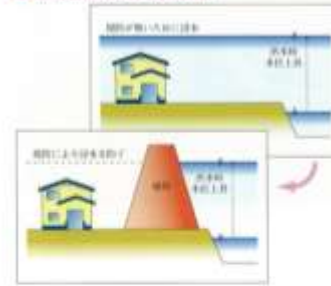
主要事業

工種	全体数量
築堤	約20km
堤防強化	約30km
内水対策	9箇所
光ファイバー整備	約41km

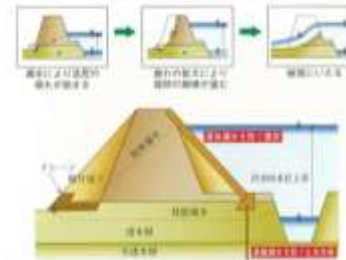
全体事業方針

◎抜本的な治水対策を総合的に実施

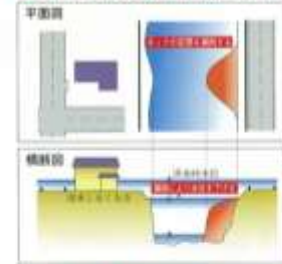
●無堤地区の解消（築堤）



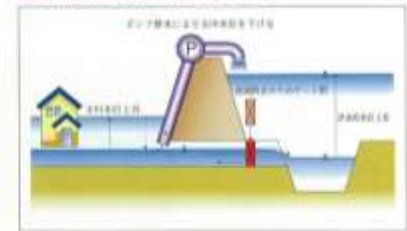
●堤防強化（護岸及び難付け）



●ボトルネック（断面不足）の解消（掘削）



●内水氾濫の防止（排水ポンプ）

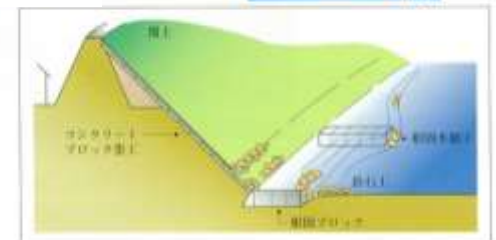


◎水害に強いまちづくり

- ハザードマップの整備
（ハザードマップ：避難地、避難経路を地図に示し、各戸に配布できるようにしたもの）
- 高度情報システムの導入
- 水防団の強化支援

◎うつくしい阿武隈川を創造

- 新設するコンクリート護岸全てを覆土および緑化
- 水辺の小規模整備
- 多自然型工法の導入



隈戸川の災害復旧

位置図



上流端：白河市大信 隈戸 全体延長 L=18.0km
下流端：矢吹町字南町

平成10年8月豪雨による被害状況

浸水被害：全半壊家屋5戸、浸水家屋70戸、
浸水面積331ha

河川改修の概要

- 改修前の流下能力：
70~360m³/s
- ↓
- 改修後の流下能力：
170~470m³/s



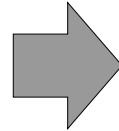
河川の断面を広くしました。

被災時～改修後（白河市（旧大信村））板蕨橋上流



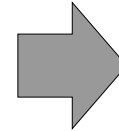
平成10年8月豪雨

※河川断面が狭かったため、背後地まで川の水が溢れ出て甚大な浸水被害が発生しました。



平成12年5月工事完了

※河川断面を広くし、護岸に覆土を行い、河川中心部に低水路を設けました。



工事完了後～

※低水路の流れも自然の流れになり、水際には植生が再生されました。

自然環境への配慮



護岸には現地発生の覆土と環境ブロックを使用することにより、植生の再生を促す工夫を行った結果、施工後1年で植生が回復し、緑豊かな川に戻りました。

川とのふれあい



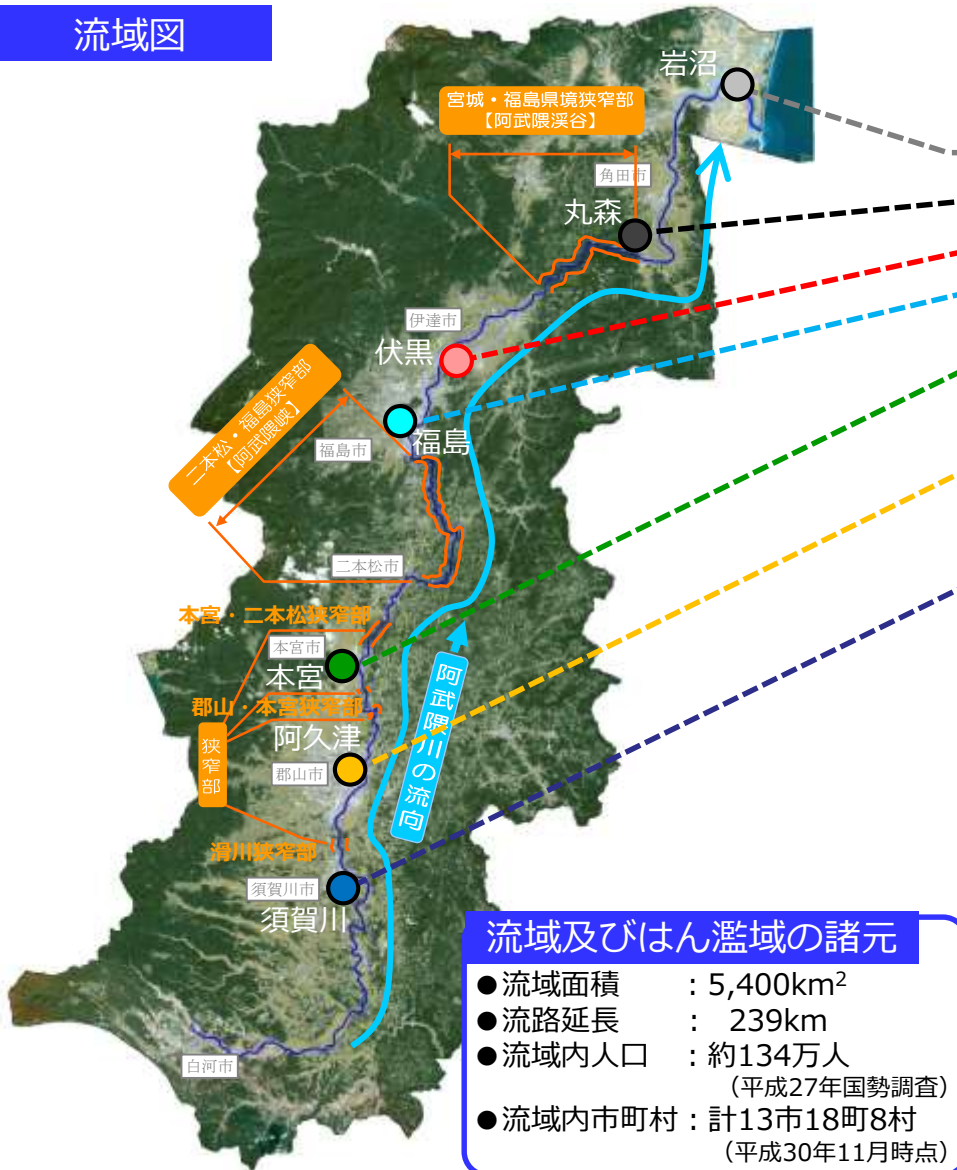
隈戸川の復興を記念し、ふるさとの川に親しみながら、自然を大切にするを目的に「ふるさとの川まつりin大信」が行われました。

左記写真：魚つかみ取り大会の様子

【参考】阿武隈川の地形特性

➤ 狭窄部によって水の流れが妨げられ、狭窄部上流の盆地で水位が上昇しやすく洪水被害を受けやすい。

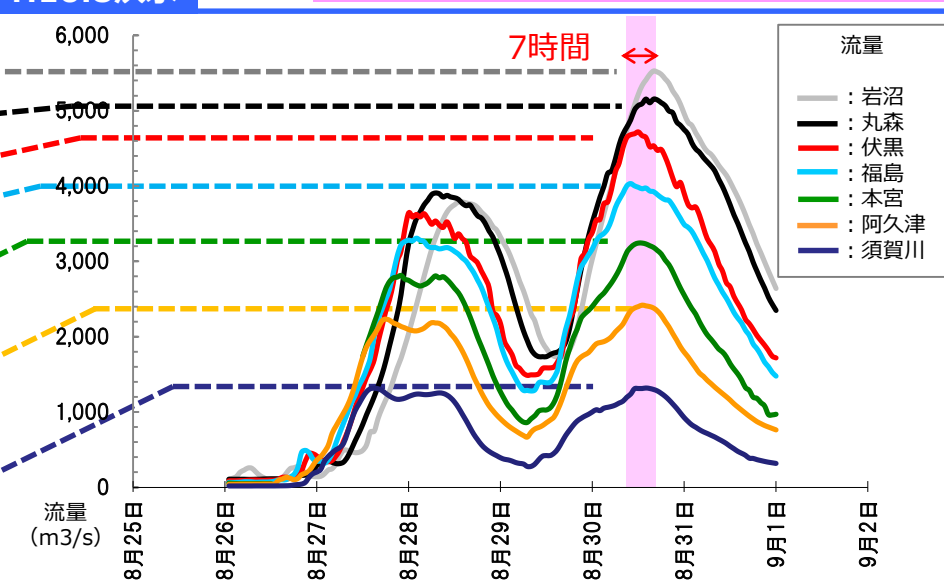
流域図



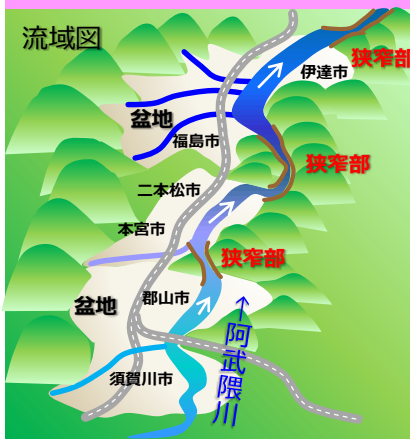
阿武隈川の地形・流域特性

H10.8洪水

◆ 主要地点流量のピークがほぼ同時刻に発生



◆ 盆地と狭窄部が交互に存在



◆ 阿武隈峡 (狭窄部)



【参考】雨の降り方の変化

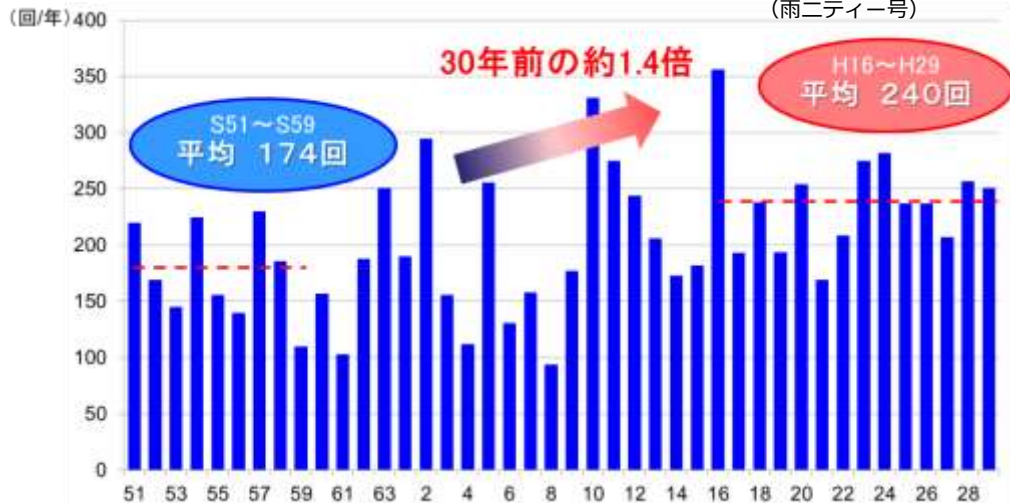
時間50mmを超える短時間強雨の発生件数が**増加**

【全国での変化】

バケツをひっくり返したような「**非常に激しい雨**」の発生件数が、**30年前の約1.4倍**に増加。



降雨体験装置 100ミリ体験中 (雨ニティー号)



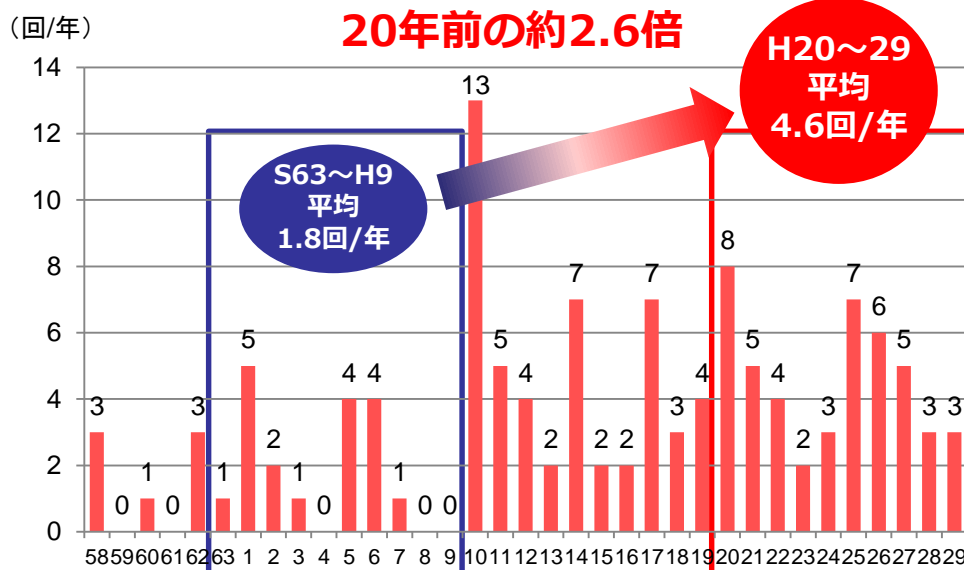
1時間降水量50mm以上の年間発生回数 (アメダス1,000地点あたり) ※気象庁資料より作成

【福島県内での変化】

福島県内に限ると、**増加傾向**は、さらに顕著であり、発生件数は**20年前の約2.6倍**に。



平成29年7月28日の集中豪雨では、福島市で、時間雨量**71mm** (観測史上最大) を記録。写真は、福島市・伊達市境の志和田川周辺で雨水がはききれず、道路にあふれ出た様子。



福島県内における50mm/h以上の降雨発生状況 (福島県内気象庁観測所N=50箇所)

※速報値：データの増減により、平均回数が変わる場合があります

【参考】過去の洪水被害と河川整備

洪水の発生と河川整備の変遷

- ▶ 明治43年や大正2年洪水で甚大な被害が発生。これらの洪水を契機に大正8年、**国直轄で河川改修に着手**。
- ▶ 昭和33年9月や昭和41年6月洪水等による被害や流域内の開発状況等を考慮し、昭和49年に**工事实施基本計画を策定**。
- ▶ **昭和61年8月に戦後最大規模の洪水発生、平成10年8月**、平成14年7月と立て続けに大規模洪水が発生。
- ▶ 河川法の改正により、平成16年1月に**河川整備基本方針策定**。平成19年3月に**河川整備計画策定**。
- ▶ 平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震とそれに伴う津波により河口部を中心に甚大な被害が発生するとともに、広域的な地盤沈下が発生。このため、河川整備基本方針と河川整備計画を**平成24年11月に変更**。



大正2年8月洪水被害状況
【福島県旧本宮町】

家屋の浸水被害が発生した様子



昭和6年7月洪水被害状況
【福島県玉川村】

岩沼実績流量：5,450m³/s
福島実績流量：4,310m³/s

家屋の浸水被害が発生した様子



計画高水流量 岩沼：9,200m³/s 福島：5,800m³/s

昭和33年9月洪水被害状況
【宮城県丸森町】

岩沼実績流量：4,370m³/s
福島実績流量：2,140m³/s

はん濫状況



昭和41年9月洪水被害状況
【福島県福島市】

岩沼実績流量：3,580m³/s
福島実績流量：2,200m³/s

国道115号が浸水



昭和61年8月洪水被害状況
【福島県伊達市】

岩沼実績流量：7,590m³/s
福島実績流量：4,140m³/s

浸水面積：14,630ha
広瀬川合流部周辺で家屋の浸水被害が集中(旧梁川町)



平成10年8月洪水被害状況
【福島県須賀川市】

岩沼実績流量：5,400m³/s
福島実績流量：3,990m³/s

浸水面積：1,846ha
外水：1,227ha
内水：619ha
釈迦堂川合流部周辺で浸水被害が集中



平成14年7月洪水被害状況
【福島県二本松市】

岩沼実績流量：6,690m³/s
福島実績流量：4,120m³/s

浸水面積：959ha
外水：472ha
内水：487ha

浸水被害が発生した国道4号、東北本線



平成23年3月東北地方太平洋沖地震
【宮城県岩沼市, 亘理町】

阿武隈川の左右岸に位置する岩沼市及び亘理町では、死者・行方不明者461名
全壊・半壊の建物被害は、両自治体の全世帯数の2割程度

津波によって崩壊した堤防(阿武隈川右岸0.1k付近：亘理町荒浜地先)



平成23年9月洪水被害状況
【福島県郡山市】

岩沼実績流量：4,500m³/s
福島実績流量：3,760m³/s

浸水面積：1,210ha
外水：589ha
内水：621ha

家屋及び工業団地、農地浸水被害が発生

【参考】最近の洪水被害 平成23年9月洪水の浸水実績



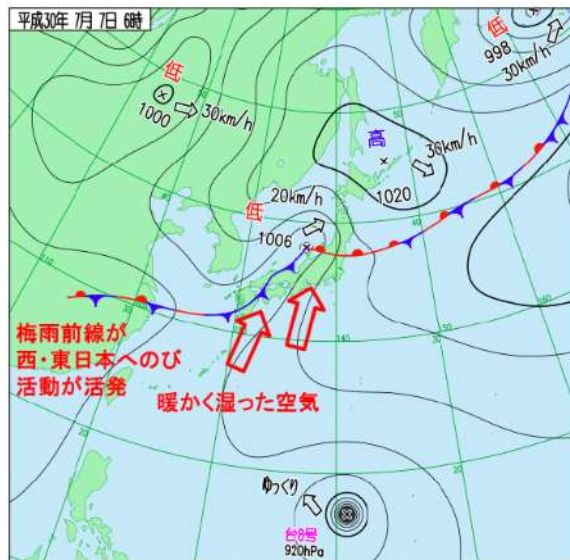
国土地理院の電子地形図25000を掲載

【参考】平成30年7月豪雨による降雨

- 梅雨前線等の影響によって、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、7月の平年の月降水量の4倍となる大雨を記録したところがあった。
- 特に長時間の降水量について多くの観測地点で観測史上1位を更新し、24時間降水量は76地点、48時間降水量は124地点、72時間降雨量は122地点で観測史上1位を更新した。

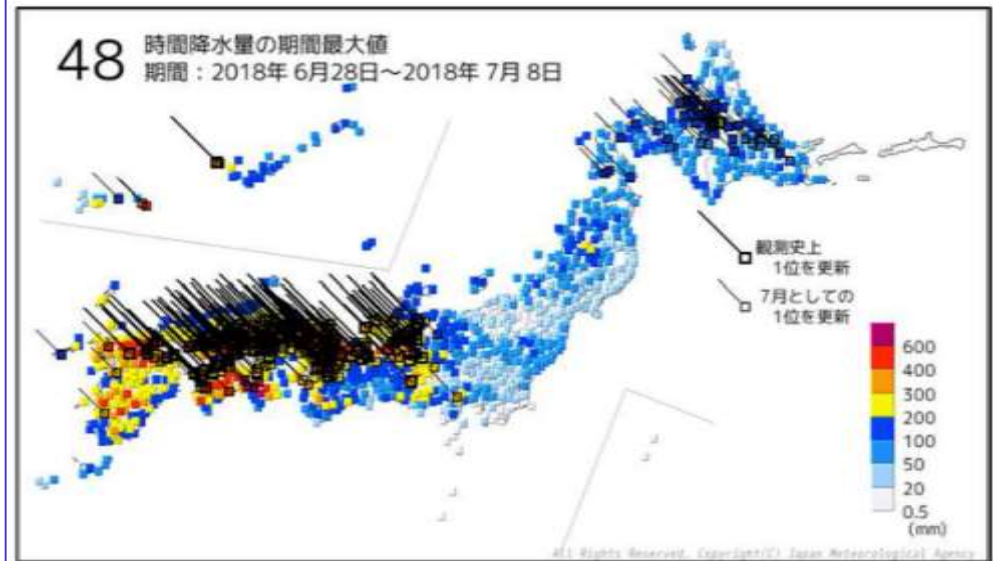
※全国の気象観測所は約1,300箇所

梅雨前線が停滞、台風から湿った空気が供給



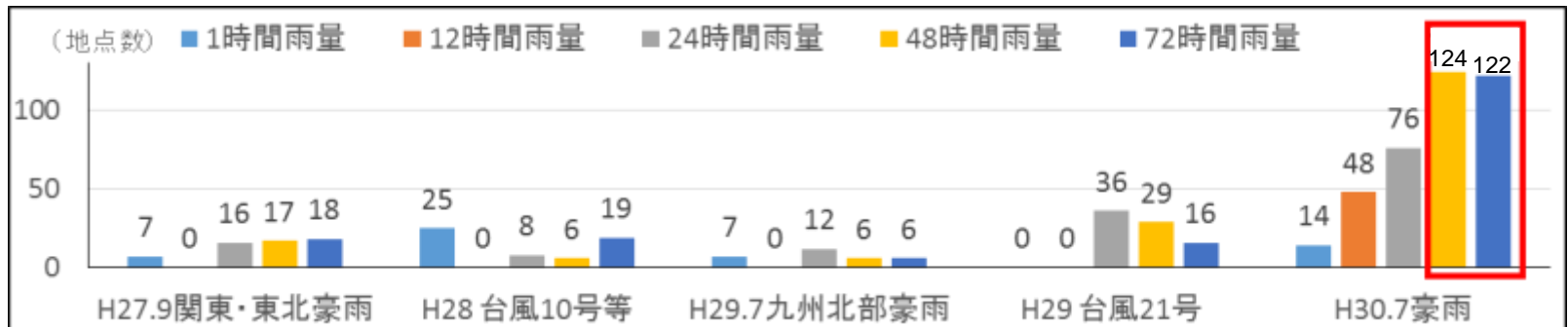
実況天気図（2018年7月7日6時00分時点）

広い範囲で記録的な大雨



48時間降水量の期間最大値（期間2018年6月28日～7月8日）

■ 観測史上1位を更新した観測地点数



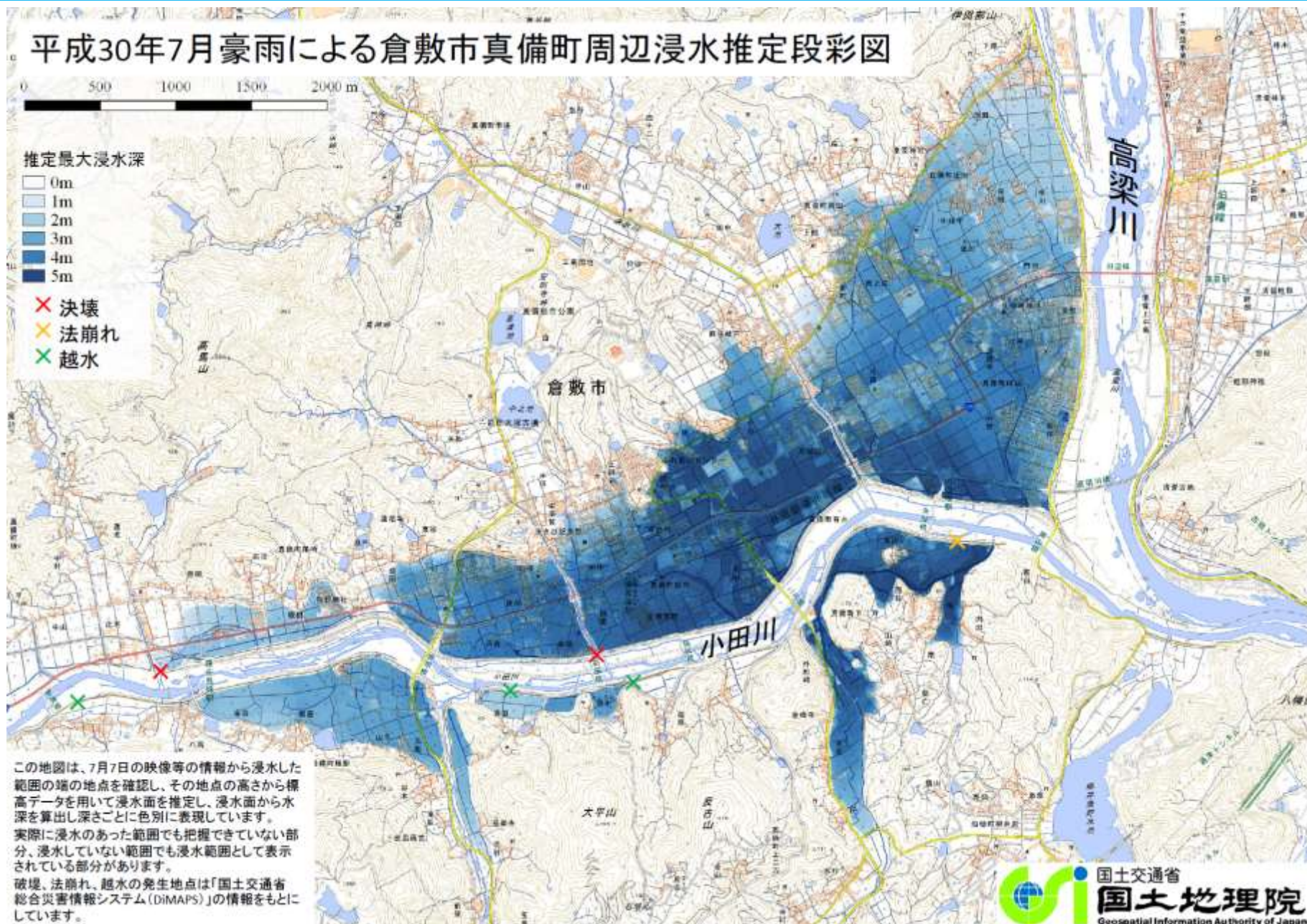
※気象庁HPを基に作成

【参考】 高梁川水系小田川の破堤（西日本豪雨）



高梁川水系高梁川：岡山県くらしき まび倉敷市真備町（平成30年7月8日（日）：国土交通省撮影）

【参考】 高梁川水系小田川の破堤（西日本豪雨）



【参考】洪水ハザードマップ

平成30年7月豪雨により浸水した倉敷市真備町では、浸水した区域と「洪水・土砂災害ハザードマップ」の予想した区域がほぼ同じだった。

高梁川水系小田川の破堤



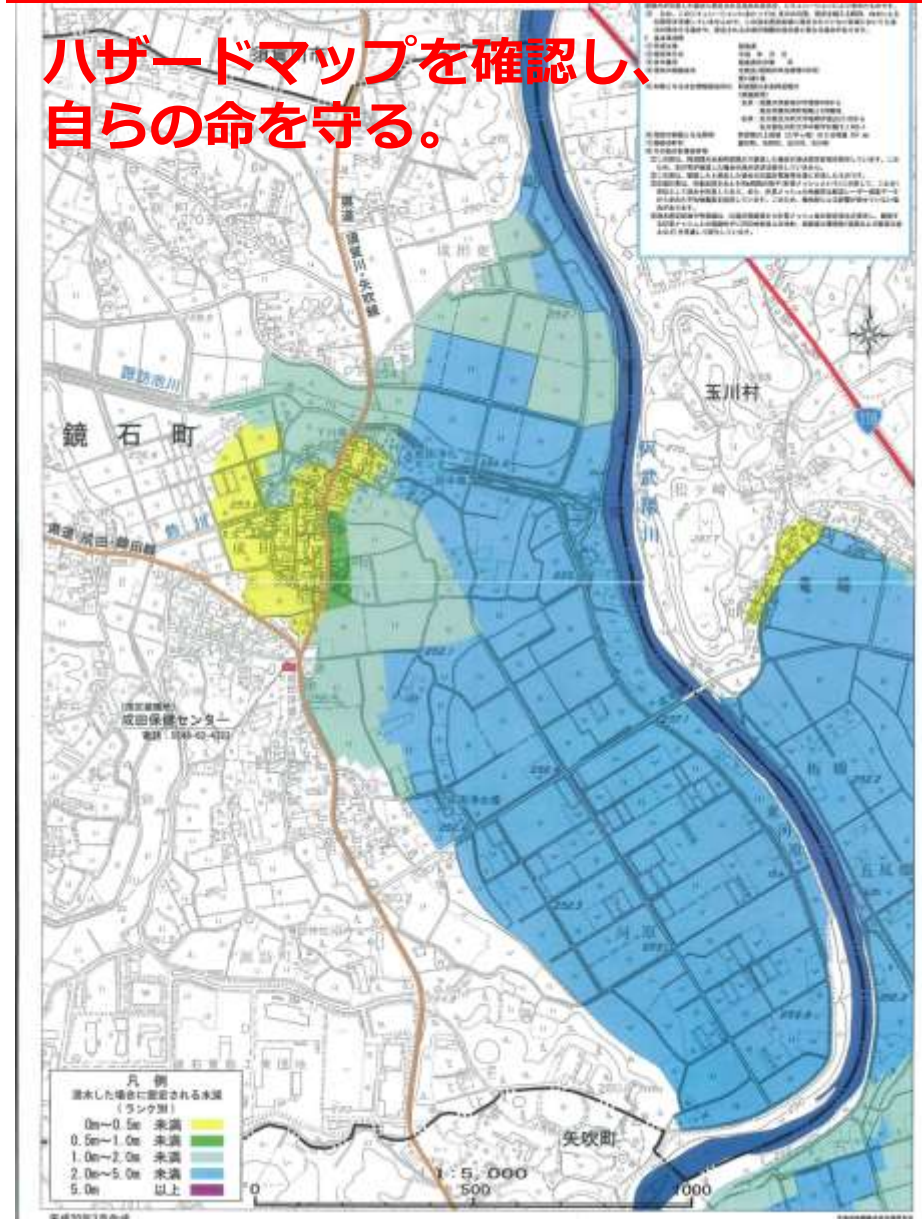
倉敷市真備地区ハザードマップ(部分)

- 浸水深5.0m以上の区域
- 浸水深2.0m以上5.0m未満の区域
- 浸水深1.0m以上2.0m未満の区域
- 浸水深0.5m以上1.0m未満の区域
- 浸水深0.5m未満の区域



鏡石町洪水ハザードマップ

ハザードマップを確認し、
自らの命を守る。



【参考】危機管理型水位計の設置と情報提供

水位上昇時の観測に特化した危機管理型水位計を設置！
きめ細やかな水位情報の提供で避難行動を促進します。



危機管理型水位計設置イメージ

本年の出水期を目処に設置完了予定！

市町村名	設置数
鏡石町	1箇所
泉崎村	3箇所
中島村	2箇所
矢吹町	3箇所
玉川村	6箇所

※設置数は国・県をあわせた数です。

現地条件等により設置数が変わる場合があります。

「川の水位情報」
サイトで情報発信中！
アクセスはこちらから
<https://k.river.go.jp/>



情報は、スマートフォンで確認
できます！（表示イメージ）

